



立川市議会議員 あべみさ REPORTno.6 2024年4月
発行責任者 阿部 美砂 (所属党派:立憲ネット緑たちかわ)
〒190-0031 立川市砂川町 1-13-29
立川・生活者ネットワーク事務所
TEL:042-535-9110 FAX:042-535-9116

一般質問動画



<一般質問より>

市民のプライバシーが守られるか!?

【土地利用規制法*1】



横田基地と立川、東立川両駐屯地の周辺が、**土地利用規制法に基づき指定される「特別注視区域」「注視区域」の候補地**なっています。決定後、(3/29に審議会通過)政府は、区域内の土地建物の利用者や用途を調査するほか、「機能阻害行為」に中止命令などを出すことができるため、**プライバシーが侵害されたり、活動が制限されるのではと懸念**されます。特別注視区域では**土地建物の売買に際し事前届け出が義務付け**られるため、財産権侵害との批判もあります。立川市から国に出す意見書で、市民の声の反映や地域住民への説明を要請することを求めました。

市の答弁 横田基地に関する5市1町、及び立川飛行場(陸上自衛隊)周辺8市で調整し、地域住民や事業者の権利を不当に制限しないこと、地域住民からの問い合わせ等について、国の責任において丁寧に対応することなど、5項目を盛り込み**意見書を国に提出**した。*1:自衛隊の基地周辺など日本の安全保障上、重要な地域での土地利用を規制する法律(2021年6月成立)

まちづくりへ活かして! 子ども委員会から市への提言 子どもの意見の実現を求める



市長へ提言を提出 市HPより

公募で集まった小学4年生から高校生までの子どもで構成する「子ども委員会」(2005年度~)は、毎年市に提言を行っていますが、そのほとんどが**実現していません**。**子どもは権利の主体者であるという観点で子どもの意見表明や参加を保障するために、市は提言の実現をめざして動くべき**です。

市の答弁 2023年度は2月3日に、「ごみ問題」「ジェンダーレス・人の多様性」について提言をいただいた。子どもたちの意向を最大限実現していこうと、関係部署と連携し、一つでも多く**実現してい**くように取り組んでいきたい。
<予算特別委員会より>

フラごみ回収費

<予算特別委員会>

市民負担を

減らすよう求める

市の支出が少ないルート^①の提案 製品プラスチックの再商品化

立川市は2025年1月より始まる一括回収の方法について現在、容器リサイクル法に基づく指定法人に委託する方式を取る予定としています。この方式は、**回収すれば回収するほど市の出費がかさむ**こととなります。**「再商品化計画認定ルート*2」**利用を積極的に検討、採用するべきです。

市の答弁 容器包装リサイクル協会に委託する方式が現状安定しているので選択した。再商品化のための工場がまだ見つかっていないが、恒常的に出荷できる場所・工場が見つければ、方針を変更することも将来はあり得る。

*2: 光学式選別機を持つリサイクル事業者(再商品化のための工場)と契約し、一括回収したプラスチックを直接工場に搬入する方式。市側にはプラの選別や梱包の必要がないため、経費削減が期待できる。そうした工場が近隣にあり、かつ市が再商品化計画を作成し、国の認可を受ける必要がある。